四世梅若実襲名記念

幽玄の世界への誘い（いざな）

梅若六郎家所蔵の
能面と能装束

2019年2月26日（火）―5月6日（月・振替休日）

※作品保護のため、一部展示替を行います

休館日：月曜日※ただし、4/29、5/6は開館

開館：午前10時－午後5時（入館午後4時30分まで）

観覧料：一般／800（600）円、大高生／500（400）円、中学生以下無料

※（　）内は20名以上の団体料金

主催：公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社　特別協力：公益財団法人梅若会、梅若実後援会、ダンスウエスト

協力：学校法人行吉学園 神戸女子大学古典芸能研究センター

香雪美術館
KOSETSU MUSEUM OF ART

能は、謡と囃子を伴奏に、演者が能面をつけて演じ、極めて簡素な所作で物語が展開されます。その歴史は平安時代に日本各地で発生した猿楽にさかのぼり、鎌倉時代に、より完成度の高い歌と舞の劇へと進化して、室町時代初期に足利義満の庇護のもと、観阿弥、世阿弥父子によって大成されたといわれています。生者と亡霊や精霊が語り合う深遠な世界観と様式美は、その後の日本美術の発展にさまざまな影響を与え、現代に伝わる伝統芸能として、2008年ユネスコ無形文化遺産に登録されました。本展覧会は、シテ方能楽師の梅若六郎玄祥師（1948～）が、2018年に曽祖父からの名跡を継ぐ四世梅若実襲名を機に企画されました。同師の全面的協力を得て、猿楽発祥の地のひとつ、丹波に祖を持ち、600年を超える芸能の系譜を伝える名門梅若六郎家の貴重な面や装束約70点を紹介します。

600年を超える芸能の系譜を伝える梅若六郎家の至宝

⑤

④

③

能を楽しむヒント

世阿弥（1363?―1443?）

つくった50曲以上ともいわれる能の大半は、今も当時と同じ調子で演じられています。世阿弥は父の教えや自らの芸術論を数多く遺し、今では誰もが知る教訓が伝えられています。

- **初心忘るべからず**
  『花鏡』奥の段
- **上手は下手の手本、下手は上手の手本なりと工夫すべし**
  『風姿花伝』第三「問答条々」
- **秘する花を知ること。秘すれば花なり**
  『風姿花伝』第七「別紙口伝」

能

は、音楽と舞踊でストーリーを語る演劇。「歌舞劇」で、立ち役と器楽演奏を担当する囃子方、コーラスを担う地謡などが、各々稽古を積み重ねた技をぶつけ合い、一つの舞台を作ります。

- 梅若実師は、バレエを題材にした「ジゼル」、「マリー・アントワネット～薔薇に魅せられた王妃～」マンガ「ガラスの仮面」の劇中劇「紅天女」を題材とした新作能にも挑んでいます。
- 能では女性の怨霊を表現する面として「般若」の面が使用されます。般若がさらに激しく、蛇のような顔つきになった面は「真蛇」と呼ばれます。
- 大森貝塚の発掘で知られるE・モース博士や、文化財保護行政に深く携わったE・フェノロサ、臼洲正子も初世梅若実に学びました。

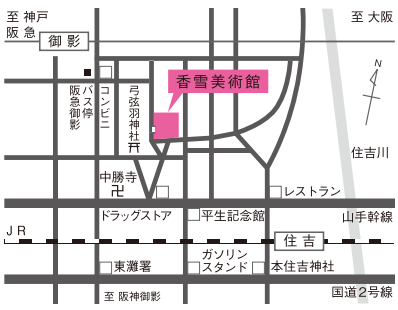
梅園会
（講演会と茶会）

「能面が物語る梅若六郎家の今昔」2019年3月3日(日) 講師：宮本圭造氏（野上記念法政大学能楽研究所教授）
○講演：午後1時／茶会：午後3時から○定員：50名（応募多数の場合は抽選）
○参加申込方法 往復はがきに住所・氏名（返信用にも）、電話番号を明記のうえ、下記宛先までお送りください。はがき1枚につき1名のみ申込みできます。申込み受付後、参加費事前入金の案内を書面にて連絡いたします。○参加費：3,500円※本展の入場料を含みます。○締め切り：2019年1月31日（木）必着
〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1　香雪美術館「梅園会」係

ギャラリートーク
会期中の毎週土曜日、午後2時から学芸員によるギャラリートークを行います。
※ギャラリートークの聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。

交通案内
阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分／JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分
阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分

香雪美術館
〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1 Tel 078-841-0652 http://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage



[表面]左上から時計回りに：能装束「銀地薄蝶ノ縫箔」桃山時代～江戸時代前期 ※後期展示／「白式尉」室町時代／「逆髪」江戸時代前期／「大癋見」室町時代後期／「邯鄲男」江戸時代前期／重要美術品「若女」江戸時代前期／舞台写真「老松」より／「真蛇」室町時代　[裏面]①「胴箔地紅葉模様蔓帯」／②「胴箔地紋尽模様蔓帯」／③「翁扇」／④能装束「紅白段地紋篭目秋草花丸唐織」江戸時代 ※前期展示／⑤「修羅扇」／⑥「花色地千網千鳥模様腰帯」／⑦「胴箔地牡丹折枝模様腰帯」／⑧「青海波水玉模様蔓帯」／⑨「胴箔地網目花模様蔓帯」　すべて梅若六郎家蔵、撮影：神田佳明　※能装束は展示替を行います。前期：2/26-3/31、後期：4/2-5/6

| **次回展** | コレクション展「羅漢さん 仏教を護る聖者たち」2019年5月18日(土)～7月15日(月・祝) | **中之島香雪美術館 展覧会情報** | 特別展「明恵の夢と高山寺」2019年3月21日（木・祝）～5月6日（月・振替休日）